

ささえあい

志布志市社協より
福祉・ボランティア情報をお届けいたします

平成25年11月26日発行

第47号



「若潮酒造新酒まつりへボランジェーと赤い羽根イベント募金として参加しました!!」

9月21日(土)、大隅カントリークラブにて「第13回共同募金チャリティゴルフ」へ参加をいただき、皆様方の温かい善意に感謝を申し上げます。

◆チャリティ結果
合計 179,665円

※募金は志布志市共同募金委員会へ全額寄付をいたしました。



共同募金チャリティゴルフへ
参加いただきました
ありがとうございます。

祖母眠る
いつかの背中に
我抱かれ
ただ懐かしむ
秋の気配と
志布志町 一 二 三

神まも
振返るしてと
志布志町 鞍掛 七五三 五雄

膝や腰
少々の痛み
気にならず
笑顔で競う
クラウンドゴルフ
志布志町 野口 嵐

- ・ 赤い羽根街頭募金ご協力ありがとうございました! (P.2)
- ・ 志布志市金婚式を開催いたしました (P.2)
- ・ 「支え合いマップ」を作っています! (P.9)
- ・ 職員スキルアップ研修を行いました (P.10)



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部により発行されています。

10月1日(火)、4日(金)に志布志市内の10店舗にご協力をいただき、街頭募金を実施いたしました。当日は、多くのボランティアや、保育園・幼稚園の園児の皆様方にご協力を得て街頭募金の呼びかけを行い、多くの方からの善意を頂くことができました。ご協力いただきました各店舗、多数の参加者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

赤い羽根街頭募金
ご協力ありがとうございました！



街頭募金額	
志布志町(7店舗)	126,562円
有明町(3店舗)	48,558円
合計(10店舗)	175,120円

○ご協力いただいた
幼稚園・保育園

・おおぞら保育園
・ひばり保育園
・あゆみ保育園
・志布志幼稚園
・カトリック幼稚園
・有明保育園

○街頭募金実施場所
(志布志町)

・ニシムタ志布志店
・エプロンロード
・サンキュー西志布志店
・ホームマン北山大原店
・サンポートしづしアピア
・ナフコ志布志店
・コープ志布志店
(有明町)
・Aコープあおぞら店
・ミネサキ有明店
・四季彩館ほりぐち志布志店

募金は志布志市内において、ボランティア団体の活動事業費、地区社会福祉協議会の福祉活動費、高齢者や障がい者の在宅福祉の向上の為に幅広く活用されます。

志布志市金婚式

11月8日(木)立冬の候、志布志市金婚式が志布志湾大黒リゾートホテルにて開催されました。



本年より金婚の該当者から手上げ方式での開催とさせていただきます。出席された皆様は、ご結婚50年の歴史を振り返りながら、思い思いに楽しまれていらっしゃる様子でありました。誠にありがとうございます。末永く、お・し・あ・わ・せ・に♡



第8回 志布志市福祉作文・絵画コンクール入賞者発表

(敬称略)

豊かな心を育み、福祉育成を目的とした「福祉作文・絵画コンクール」を小・中学生を対象に実施しました。また、11月23日(土)に行われました「第8回志布志市社会福祉大会」にて表彰されました。

福祉作文

小学生低学年の部(1～3年)



福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	蓬原小学校	2	普現 未理	車いす体けん	最優秀賞 (1名)	安楽小学校	3	吉留 宏紀	かたたたき
優秀賞 (2名)	原田小学校	2	高松 琴美	いつかわたしも	優秀賞 (2名)	野神小学校	3	鈴木 海渡	元気にはたらくぼくのおじいちゃん
	松山小学校	1	西村 俐咲	わたしのおとうと		安楽小学校	1	池ノ上 琴子	じいちゃんと草とり
佳作 (3名)	有明小学校	3	宮脇 隆太	ぼくの大事な宝物	佳作 (3名)	森山小学校	1	鎌田直雄矢	はたけしごとのじいちゃん
	安楽小学校	1	濱崎海七渡	ぼくのおとうと		森山小学校	2	川畑 光織	ばあちゃんとお花をうえたよ
	安楽小学校	2	上浦 大空	トリプルつけあげとこはのさん		伊崎田小学校	1	小治 瑠碧	じいちゃんとおばあちゃんのつくったやさい

福祉作文

小学生高学年の部(4～6年)



福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	有明小学校	5	愛甲 有矢	ホスピスでの思い出	最優秀賞 (1名)	田之浦小学校	6	杉山 美月	地域のおじいちゃんと一緒に
優秀賞 (2名)	松山小学校	4	中村 彩乃	ひいばあちゃんのなみだ	優秀賞 (2名)	伊崎田小学校	4	里 愛莉杏	草とりをがんばっているおじいちゃんとわたし
	通山小学校	4	田中 恵仁	気持ちと言葉の大切さ		尾野見小学校	4	津曲優葵奈	ごはんの手伝い
佳作 (3名)	尾野見小学校	4	野口 千鶴	がんばってね、おばあちゃん	佳作 (3名)	有明小学校	4	牧原 怜那	いっしょにまきわり
	有明小学校	5	平野 杏周	思いやりのある一言を		原田小学校	4	西川 七海	大すきなおじいちゃん
	蓬原小学校	5	川添 瑞穂	みんなの笑顔		森山小学校	4	立脇 蒼	大好きな祖父母

福祉作文

中学生の部



福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	志布志中学校	3	児玉 佳歩	「福祉」の心	最優秀賞 (1名)	出水中学校	3	迫田 和恵	豊作を喜ぶ祖父と祖母
優秀賞 (2名)	有明中学校	3	稲森みずき	本当の強さ	優秀賞 (2名)	志布志中学校	1	山元 晶子	いつまでも仲良く元気で
	松山中学校	3	大原帆乃佳	じいじとほのかの交換日記		宇都中学校	2	本田 葵	体験学習でふれあうという楽しさを学ぶ
佳作 (3名)	松山中学校	2	大峯亜梨沙	おばさんに会い、今、私が思うこと	佳作 (3名)	伊崎田中学校	2	吉元恵里奈	私のおばあちゃん
	有明中学校	2	勝目ひより	訪問演奏		宇都中学校	2	益山 奈々	おばあちゃんと一緒にカレー作り
	伊崎田中学校	3	吉元真里奈	いつもありがとう		出水中学校	3	原口 翔吾	体験学習で学ぶ

福祉作文

学校賞



福祉絵画

区分	学校名	区分	学校名
小学校	有明小学校	小学校	安楽小学校
中学校	松山中学校	中学校	出水中学校



最優秀賞

小学生低学年の部



志布志市立 蓬原小学校 2年 普現 末理さん



「車いす体けん」

「ガチャ。ギギギー。」
「うわあ、おもいよ。」

わたしは、かおりおばさんの車いすに、はじめてのつてみました。

おばさんは、三才の時にじこにあって、足をけがしました。それから、つえをつかって歩いていきます。今でもりハビリに通っています。時々、車いすのつてるところを見て、「どんなふうにごかすのかな。わたしのつてみたいな。」と思っていました。そこで、かおりおばさんにきよかをも

らつてのつてみました。思っていたのとちがうこと、それは、うごかすことがすごくむずかしいということです。おじいちゃんのお店に車いすはおいてあるので、お店のつてるところのつてみました。

「ドーンッ。」

お店の入口の大きなつくえにぶつかりました。

「ドサッ。」

こんどは、たなに当たって、おかしがいっぱいおちてしまいました。せまいつうろをやつと通つたと思つたら、大きな台にまたぶつかつて、もう右にも左にも行けなくなつてしまいました。そしてわたしは、とうとう車いすから立ちあがつてしまいました。

「車いすのつて、行きたいところに行くのは大へんなんだ。」

わたしは、もっとかんたんに車いすをうごかせると思つていたので。こんどは、お兄ちゃんにおしえてもらうことにしました。すると、スピードがはやくなつて、足をじめんにつけて止めました。もう少しでおっこちるところでした。

「足がふじゆうな人はどうなのかな。わたしはさつと足をつかえたけれど。」

車いすのつてみて、はじめて知ることが多かつたです。かおりおばさんがすいすいのつていたから、もっとかんたんにうごけると思っていました。でも、じつさいにのつてみたら、ぜんぜんちがいました。タイヤの回し方がむずかしくて、行きたいところになかなか行けません。車いすのつてている人の気もちが少し分かつたような気がします。歩けない人でも、行きたいところはあります。

車いすで通りにくいところもあるんじゃないかなあと思います。

もし、車いすのつてている人が、なかなかすすめなくてこまつているときは、お手伝いをしたいと思います。

「おもしろうか。」

とたずねてから。もしかしたら自分の力で行きたがつていくかもしれないからです。

車いすの人が、通りやすい道や、行きやすいばしょが、もつともつとふえるといいなあと思います。

最優秀賞

小学生高学年の部



志布志市立 有明小学校 5年 愛甲 有矢さん



「ホスピスでの思い出」

みなさんはホスピスという所を知っていますか。ホスピスの意味は、がんなどの病気で助かる見こみのない人に、命をのばすしよ置はしないで、苦つうをやわらげる医りようをおこなうし設のことを言います。

そのホスピスの方々に、ぼくの姉も所属している有明中学校合唱部が、歌をとどけに行くと聞きました。ぼくは、「ホスピスってどんな所だろう」と思い、家族で見に行きました。

病院は、都のじょうの三州病院です。広くて明るく、緑に囲まれている部屋に車いすの人や、ベッドでねたきりの

人たちが集まってきました。最初の曲は「七つの子」を歌いました。目を閉じたり、いっしょに歌う人もいました。それを見たぼくは「あともう少しでこの人たちは死んじゃうのかな、この日がいい思い出になるといいな」と思いました。次の曲は「花はさく」という曲です。この曲はNHK「明日へ」東日本大しん災ふつこう支えんソングです。しん災にあつた方々が、亡くなつた人をいとおしく思つたり、後かいしたり、それでも希望を持つて生きる前向きな曲です。そのかしの中で、心に残つた言葉があります。

「花は 花は 花はさく
いつか生まれる君に

花は 花は 花はさく
私は何を残しただろう。」

ぼくは、むねがしめつけられました。かんごしの方々、先生、かん者さんの付きそいの方、父も母も、もちろんホスピスの方々もみんな泣いていました。ぼくも、なみだがあふれてきました。一言で言う、感動です。このしゅん間に立ち会えた事は、ぼくにとつてとても幸せです。その後「ふるさと」や「茶つみ」など、だれもが知つてい

る曲をみんなで歌いました。

最優秀賞 中学生の部



志布志市立
志布志中学校 3年

児玉 佳歩さん

「福祉」の心

その後、合唱を見に来られなかったかん者さんの部屋に行きました。合唱部の人と先生だけが部屋に入り、ぼくたちやかんごしさんは、外のろう下で歌声を聞いていました。曲は「上を向いて歩こう」「ふるさと」「なだそうそう」を歌いました。歌声を聞いていたかん者さんは、とても喜んでいました。

後からふ長さんに、このかん者さんは命が残り少ない事を聞きました。ぼくは、できることなら、自分の命を分けてあげたいと思いました。

今日は、かん者さんたちにとって、いい思い出になったんじゃないかなと思いました。ぼくも、わすれられない一日になりました。これから一生けん命生きて、だれかの役に立つ人になりたいと思います。

ホスピスのみなさん、命の大切さを教えて下さって、ありがとうございます。

一日でも長く生きてくださいね。

「福祉」という言葉を聞いて、どんなものをイメージしますか。それは人それぞれですが、私はお年寄りや障がいをもった方、病院やスロープなどの施設をイメージしました。

しかし、辞書で「福祉」とひいてみると、幸せや幸福、人々が安心して暮らせる環境のことだとかいてありました。「福祉」がつく言葉には「福祉施設」や、「介護福祉士」などいろいろあります。しかし、日頃耳にするそのような言葉の意味について考えたことはありませんか。おそらく、言葉の意味をきちんと理解し、説明できる人は、私を含めなかなかいないのではないのでしょうか。

「福祉」の意味のひとつは幸せや幸福などです。これは想像もしなかった言葉でした。みなさんは、どんな時に幸せを感じますか。本を読んでいるとき、ご飯を食べているとき、絵をかいているときなど、これも人それぞれです。私は、「どんなときだろう」と考えてみると、すぐに友達や家族といるときだと思いました。それは、私にとってとても大切な時間で、かけがえのないものです。幸せと聞かれて、私と同じようにイメージした人も多いと思います。

では、次に「人々が安心して暮らせる環境」を考えると、私がイメージした病院やスロープなどの施設とは少し違うと思います。最近の世の中では、「ユニバーサルデザイン」や「バリアフリー」という言葉が教科書にもでてくるように、誰もが安心して暮らせるように進める活動が行われているのと思っています。しかし、本当にそうして設備を整えるだけでよいのでしょうか。確かにスロープがある、と足の不自由な方は助かるし、点字表示があれば目の不自由な方も利用することができま

る環境」にはなりえないと私は思います。

例えば、混雑したところで車いすののっている方がいたとします。あなたは、それに對してどういった目を向け、どう接しますか。

「じゃまだな」とか「早くしてよ」などと感じる人もきっといると思います。私も急いでいるときにそういった状況になると、そう思ってしまうかもしれません。以前、本で、体の不自由な方はそういう場面で「迷惑をかけている」と思ったとき、まわりの目に敏感になり、今自分がどう思われているか感じてしまう、と読んだことがあります。いくら設備が整っていても、周りのそういった思いや目が変わらない限り、誰もが安心して暮らせる世の中にはならないと思います。

考えてみてください。もし自分の体が不自由で、よくそのせいで人に迷惑をかけてしまうことがあるとします。そのうだとしたら、あなたは目の前にいる車いすに乗った人に、「早くしてよ」と思うことができますか。私がもしそうだとしたら、その方の気持ちを想像し、自分と重ね合わせ、悲しくなると思います。「誰もが

安心して暮らせる世の中」になかなかすることができない原因は、人々の「相手の立場になって考える心」が足りないことではないでしょうか。

誰もが相手の気持ちを考える心を持てば、少しでも「人々が安心して暮らせる世の中」に近づくことができる、私は思います。そして、そういった思いで人に接することで、それを見た人の心も動き、もつと安心して暮らせる世の中になっていくと思います。

「福祉」とは、誰もが幸せを感じ、安心することが出来る環境、またはそうしようと思いを努力することを意味する言葉だと思っています。

誰もが「福祉」の心を持てば、きっとよりよい世の中になっていくのではないのでしょうか。



※作品はすべて原文のまま掲載しております。

第8回 志布志市福祉絵画コンクール 最優秀作品紹介

最優秀賞 小学生低学年の部



「かたたたき」

志布志市立
安楽小学校 3年

吉留 宏紀 さん

最優秀賞 小学生高学年の部



「地域のおじいちゃんと一緒に」

志布志市立
田之浦小学校 6年 杉山 美月 さん

最優秀賞 中学生の部



「豊作を喜ぶ祖父と祖母」

志布志市立
出水中学校 3年 迫田 和恵 さん

障がい者戸外ふれあいの一日が行われました

暖かな陽気に恵まれた10月31日（木）に、一人での外出が難しい重度の視覚・下肢に障がいのある方々と、その付き添い方やボランティア関係者20名で霧島ヶ丘公園とリナシティかのやに行きました。



霧島ヶ丘公園では、数多くのバラにうつとりしながらも、花びらを触ったり、香りを比べてみたりと、皆さん思い思いに楽しんでおられるようでした。また、バラのソフトクリームはバラの香りが口いっぱいになり、皆さんおいしそうに召し上がられておりました。昼食後は、リナシティかのやへ行き、施設内を散策したり、きもつき川辺水族館を見学されたり、買い物やピアノ体験をされました。

この日はハロウィンだったこともあり、貸出しされている仮装グッズを身にまとったの記念撮影では、皆さん特に喜ばれておりました。帰り際は、「また来年も、お会いしましょう。」と皆さん笑顔でおっしゃっており、良い思い出ができたのではないかと思います。



家族介護者交流会

今年度第1回目の家族介護者交流会が10月11日（金）に湯遊ランドあいらにて、開催されました。なかなか都合がつかない方もおられましたでしたが7名の参加がありました。初めに「在宅介護を続けていく為の健康について」を在宅栄養士の益山尚子氏に鹿児島弁を交えながらわかりやすく教えていただきました。皆さん、先生のお話を聞かれ、「とても良かった。まだ、聞きたらない。」との声がありました。昼食でも、介護者同士のお話に盛り上がりつつありました。日頃の身体の疲れも流すように入浴をされたり、地元の野菜など買い物も楽しめました。



栄養について学ぶ

午後からは、カワイックス曾於サテライトの方が介護用品をスプーンなどの小さなものから、ベッドの大きなものまで末吉町（志布志市の担当地区）より吾平町（会場）に、はるばる運んで、介護者の方に説明をして頂きました。皆さん、介護が楽にできる品々に目を奪われていらつしやいました。とても便利だとの声が聞かれ、介護の品々を手に取り使いやすさを確かめておられました。



介護用品の説明を受けている所

介護者の皆さんにとって、今日の交流会が、今後の介護をしていく中で無理なく出来るように手助けができれば、幸いです。

◎この紙面に関するお問い合わせはこちらまで!!

・志布志市社会福祉協議会 志布志本所 ☎ 099-472-1800
有明支所 ☎ 099-474-0310
松山支所 ☎ 099-487-2001



各町サロンボランティア市外研修

志布志町

10月29日(火)、志布志町サロンボランティア代表10名が、串良町柳谷集落(やねだん)・肝属地区清掃センター研修を実施しました。

柳谷集落の公民館館長である豊重哲郎さんに「やねだん結成までのあゆみや集落の取り組み」について、お話を伺いました。参加者の皆さんはすばらしいお話に、心を打たれる事ばかりだったと思います。

前回までは、サロン交流をしていましたが、今回は集落の取り組みという事で、また違う視点から視察ができ、これからのサロン運営の参考になったのではないかと思います。



松山町

10月30日(水)松山町のサロンボランティア市外研修が霧島市サロンの方々との意見交換会があり、12名のサロンボランティア代表の方が参加されました。

霧島市サロン活動を活発にされておられる様子や立ち上げたきっかけなどの発表がありました。会終了後、松山町からは「いろんな意見や話が聞けてすごく参考になった。」両方のサロンからは「もうすこし、意見交換会があってもよかった。」などの声がありました。

霧島市サロンとの今後の繋がりが出来て、今後のサロン活動に意欲的に取り組んで行かれることと思います。



有明町

11月1日(金)、有明町サロンボランティアの代表者11名の方が、都城地区社協の方々の地域の活動とサロン活動について学び、お互いのサロンについての意見交換をされました。

都城地区社協の方々の地域に根付いたお話に感心され、「勉強になりました。」「一生懸命やっていらっしやることを聞いて、良い点は学んでいきたいと思いました。」と話されました。

地域によってサロンの成り立ちや開催方法は異なりますが、取り組み方の地域への思いをお互いに感じたようで、今後サロン開催に対する励みになったのではないかと思います。



松山町ボランティア代表者交流会

(松山町ボランティア連絡会)

10月3日(木)に老人福祉センターにて松山町ボランティア代表者会がありました。ボランティア連絡会としての活動や大隅の國やつちく松山藩第25回秋の陣まつりでのボランティアなど活発な話し合いがなされました。



おいしいふくれ菓子を召し上がれ

10月9日(水)に松山町のボランティア団体『尾野見グループ』(津曲美奈子代表)の皆さんが75歳以上の高齢者(237名)を対象に農村婦人の家でふくれ菓子を作りお届けいたしました。



輪多市のボランティア

輪多市とは

「多くのボランティアの輪を志布志市に広めよう」の意味です。

「支え合いマップ」を作っています！

「支え合いマップ」は、地域において気になる方や支援が必要な方の把握、日常生活上の困りごとの発見・解決のために、地図上に、よく行き来する線などを描き、住民の福祉活動を推進するための手段です。支え合いマップづくりを通して、住民が自分たちの地域を見つめ直し、地域で出来ることを考えるきっかけづくりとして、志布志市社協が推進しております。2自治会での作成取り組みの一部を紹介いたします。

上門自治会（志布志町）

7月30日（火）上門公民館にて
上門自治会より4名参加。

支え合いマップづくりを通して、一人暮らしのAさんは、昼間戸を閉め切っており、戸を何度たたいても出て来られないことがある。Aさんについては、参加者がお墓参りの際にお会いしたりするので、皆で見守りを継続していきましよう、と参加者で確認を行いました。また、自治会全体での取り組みとして、最近サロンに来られなくなった方へ、再度声かけし参加を促すこととなりました。



認知症の方の状況確認も
行っています。（上門自治会）

夏井自治会（志布志町）

9月20日（金）夏井公民館にて
夏井自治会より6名参加。

1、2班の支え合いマップをつくりました。一人暮らしのBさんは、以前高齢者ふれあいサロンに参加していたが、ここ3か月来られていないため、参加者のCさんが声をかけを行うこととなりました。また、日中独居の方などの情報を皆で共有することができました。



情報を皆で共有することが
できます。（夏井自治会）

支え合いマップは1回の作成につき50戸（世帯）を目安に作っていきます。皆さまの地域で、「支え合いマップ」づくりに取り組みたい方がおられましたら、お気軽に志布志市社協までお問い合わせください。

やっちく秋の陣まつりに出店！

11月10日（日）、城山総合公園（松山町）にて開催された、やっちく秋の陣まつりに、志布志市社会福祉協議会が出店いたしました。

「バザーコーナー」と「バールンアート体験コーナー」を設け、ボランティアの方々14名のご協力により、多くの方々にご来場いただきました。

また、赤い羽根共同募金のイベント募金活動として、松山中学校の生徒12名のボランティアも参加されました。

バザーの売上は、ボランティア活動費と、赤い羽根共同募金寄附として活用されます。

ボランティアの方々をはじめ、皆さま方よりいただきました多くの善意に厚く感謝申し上げます。



多くの方々にご来場いただき、
大盛況でした（^o^）

若潮新酒まつりへ参加しました！

10月27日（日）志布



志市共同募金委員会からイベント募金活動として参加しました。2名のボラン

ティアさんと作ったバールンアートのプレゼントや、ステージではボラレンジャーによる社会福祉大会開催のお知らせをさせていただきました。若潮酒造の皆様を始め、関係者の皆様、募金していただいた皆様、本当にありがとうございます！



輪多市のボランティア

輪多市とは

「多くのボランティアの輪を志布志市に広めよう」の意味です。

福祉教育の 充実のために

社協職員スキルアップ
研修を踏まえ
香月小学校福祉体験

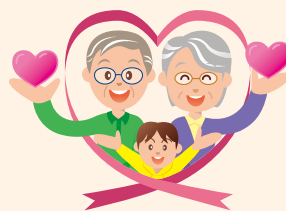
9月30日(月)に職員を対象に、福祉体験のスキルアップ研修を行いました。当日は、県介護実習・普及センターから講師をお招きし、2時間にわたり、高齢者疑似体験(エルダートライ)と車いす体験の研修を受け、福祉教育を学ぶ機会となりました。

本研修を受けて、社協ではより充実した福祉体験が提供できるようにこれまでの内容を見直し、10月25日(金)に、香月小学校において、そお地区障がい者相談支援センター・ボランティア連絡協議会の協力により、体験談の講話や福祉体験を実施しました。

体験後は、体験前後の心の変化について発表し、自分ができることについて考える機会となり、志布志市を担う心優しい子どもたちにふれあえる時間となりました。

志布志市社会福祉協議会では、職員や地域のボランティアの方

等を学校へ派遣し、障がいのある方のお話や車いす体験、高齢者疑似体験等を通して、地域の福祉について考える機会をつくります。お気軽にお問い合わせください。



香月小学校福祉体験

スキルアップ研修



大隅地区災害時相互応援協定

締結式開催



10月10日(木)、曾於市末吉総合センターにおいて、大隅地区内の四市五町の社会福祉協議会が大規模災害発生時に相互に応援し、その応援が円滑に行われるよう、災害時相互応援協定締結式が行われました。

締結式では、大隅地区社協連協会長のあいさつの後、九市・町の

社会福祉協議会・来賓・ボランティア等が見守る中、対象とする災害、応援内容(応援職員派遣、活動に必要な備品・資材等の提供及び幹旋)、応援職員の指揮、経費の負担等について盛り込まれた応援協定書に調印を行いました。

締結式後は、平成20年に近隣社協と災害協定を締結し、実践した活動について、阿蘇市社協山本班長の記念講演がありました。

大隅地区では、来年1月、円滑な支援活動を目指し、大隅地区社協・ボランティアによる災害ボランティアセンターの設置・運用訓練が予定されています。

この災害時相互応援協定は万が一の災害に備えて、円滑な応援を行うために調印されたわけですが、大隅地区内の社会福祉協議会相互の連携をさらに強くすることが、この協定の実行性を高めると考えられます。



市民編集員が

行く!



秋のファッションショー「あなたが主演」

取材 市民編集員

見野 初美 (好きな果物…とれたてのスイカ)
坂元 聡子 (好きな果物…イチゴ)

10月27日(日)、アピシア2階で秋のファッションショーが行われました。発案は、まちづくり同好会の奥山繁さんで、志布志市の数か所で花壇や花づくりをボランティアでされている方です。ファッションショーで一番感動したのは52歳でも膜下出血で倒れ、左半身不随になりながらもリハビリを頑張られている永山直子さんです。まだ麻痺が残っていますが、杖と介添えの方の力を借りて、歩けるまでになり、奥山さんが一年位かけて様子を伺い出場に至ったそうです。



「二人暮らしをするのが夢」という黒のドレス姿が美しく明るく前向きな彼女に大きな拍手を送りました。フィナーレは大島紬に身を包んだ奄美出身組の民謡日本一で喜界島出身の川畑さおりさん、大崎小学校校長の加納先生、兄玉あかねさんによる三線、フルート演奏、歌ありで盛大に幕を閉じました。奥山さんは高齢の方や障がいを持った方を表舞台に出してもらいたいことにより元氣を出せば意欲的でした。

ともだち!

モトム。
アナタのつながり。
ミンナの輪。



小瀬戸 太一
仕事 農業 (株) さかえ
趣味 タイコ・サーフィン
8月に長男が産まれました!!
大きくなったら一緒に海に入りたいです。
⇒ 工藤 篤子 さん
お互い、子供の成長楽しみですね!
これからも家族で仲良く
して下さいね。

このコーナーは人のつながりによって成りたつていきます。

社協実習を終えて



氏名 やないだに ともき 柳井谷 友喜

学 校 九州保健福祉大学 3年

将来の目標 福祉関係で地域に関わる仕事

社会福祉協議会を通してよりよいまちづくりのためには、住民・関係機関との「団結力」、企画したことを実践する「行動力」、人間関係を構築するための「センス」が大切だということを学びました。また、福祉に関わる仕事がしたいという気持ちがより強くなりました。残り1年間の大学生活は実習で学んだことを踏まえ、勉学に励みたいと思います。1か月間ありがとうございました。

皆様の善意に 感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお
礼にかえて市社会福祉協議会
にご寄附を頂きました。

ここに謹んでお悔やみ申し
上げ故人のご冥福をお祈り申
し上げます。頂きましたご寄
附は、志布志市の地域福祉向
上のために有意義に活用させ
ていただきます。

(平成25年9月1日から
平成25年10月31日まで)

自治会名 寄附者名 物故者名
(敬称略)

志布志地区

香月	鶴山キミ子	故典雄
松原	山角マリ子	故利行
香月	森屋久雄	故フヂ
曲瀬	中曲瀬成昭	故智恵子
若浜	松浦ユリ子	故正吾
町原	樋渡純義	故秀則
馬見ヶ塚	吉川満彦	故弘子
大迫	田中一治	故イヌ
平和	西山カズ子	故一男
上大黒	稲留良洋	故トシ子
大久保	尾上金夫	故キミ子
横峯	横峯重雄	故スミ子
大越	福留安雄	故マツエ
横峯	横峯章和	故アヤ
坂之上	実裕子	故今別府勇
上有明	赤田栄子	故一紀
上昭和	宗像 勲	故元子

有明地区

平和	園田義文	故フミヨ
香月	谷山直子	故昇
中學校通り	大王まゆみ	故康敬
安楽	大浦善久	故ハツエ
宝満	吉田節子	故中野ミエ

松山地区

上中村	田中茂枝	故サチエ
桃木	郡セツ子	故長野柏
飯屋	林ナミ子	故龍雄
川中	上岡幹雄	故誠
前田	岩田かおる	故淳一

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の
方々より市社会福祉協議会に
ご寄附を頂きました。

松山地区受付

・松山中39年卒業生同窓会一同
代表者 福留榮行

11,586円

物品寄附

志布志地区受付

・紙おむつ 児玉富士男

東日本大震災義援金

(9月16日～11月15日受付分)

(平成23年3月14日～
平成25年11月15日受付分)

これまでの合計金額…
1,133万3,559円

東洋埠頭から もち米が

寄附されました。



いただいたもち米を
各施設へ寄贈しました。



『福祉川柳・短歌・俳句』 募集いたします。

志布志市社会福祉協議会
では、幅広い年齢層に広く福
祉に興味を持って頂きたく
「福祉川柳・短歌・俳句」を
募集いたします。

募集方法

・氏名又はペンネーム、
町名を記入
・一人2作品まで
・ハガキ、郵送、FAX
※電話による募集はいた
しません。

応募締切

平成25年12月20日(金)まで
※季語を含む場合は12月1日前後
掲載について
・平成26年1月24日発行
「ささえあい」第48号に
掲載予定

心配ごとがありましたら…

～金銭、年金、家族、住宅、ご近所トラブルなど～

12月・1月の日程

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、
お越しください。なお、相談料は頂きません。

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					29	30	31				

※日程は都合により変更になる場合があります。右記までお気軽にお問い合わせください。

- ：志布志地区 472-1800
(健康ふれあいプラザ内)
- ：松山地区 487-2001
(老人福祉センター内)
- ：有明地区 474-0310
(市民センター内)

相談時間
10:00～15:00